

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金＜連合会・組合関係＞事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
①	全国理容生活衛生同業組合連合会	新規顧客獲得に向けたエステティック技術の開発・普及	9,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理容業界の経営安定化のためのテーマについて取り組んだ事業であり、技術マニュアルの作成、講習会の実施など予定された事業は順調に実施されている。業界振興に一定の成果をもたらすことができたものとする。 ・成果把握に関してはアンケート調査を行うなどの工夫がみられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の成果は、店舗におけるメニュー化や、市場拡大効果を測定して初めて判断できるので、今後も継続的に店舗におけるメニュー化の進捗等の把握に努められたい。 ・多くの受講者があった本講習の業界における浸透状況をウオッチし、改善点・課題等を明確にしなが、組合としての支援、フォローが求められる。
②	群馬県理容生活衛生同業組合	県内の高校での理容体験学習課外授業を通しての養成施設の活性化と後継者育成事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理容業界の後継人材育成を目的とした事業であり、実施成果からも事業の意義については認められる。 ・審査・評価会の助言を受け、理容体験学習を広く行う事業内容に改善が図られており、事業も計画されたものは行われており、評価することができる。 ・アンケート調査は、サンプル数が少ないが、成果の把握するために実施したことは評価したい。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理容師を目指す若者の育成に対して、中学校・高等学校などのタイミングで実施すべきか、また、どのように実施するのがより効果的かについても今回の事業の結果も踏まえて、さらに検討を重ねていくことが重要と思われる。
③	滋賀県理容生活衛生同業組合	自主管理点検表の普及状況確認及び普及・促進	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界の衛生対策に取り組んだ事業であり、衛生という本質的目標の徹底を図る優れた取組として高く評価できる。 ・複数回の検査巡回が行われ、その度に効果が上がっていることが報告されて、一定の成果が数値的に認められるなど、成果の測定も具体的数値をもって行われているので高く評価することができる。 ・本事業の実施により、事業者の自主管理を徹底のための管理日誌の作成等、今後も継続的に衛生対策を実施していくことが可能となった点も継続性の面において評価する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生衛業にとって衛生遵守は必要不可欠のことであり、今後も継続を望む。
④	徳島県理容生活衛生同業組合	新規顧客開拓に向けシェービング技術生かしたメニューの開発と普及	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会への参加人数も多く、組合員のニーズに合致した事業であったと認められる。また、消費者ニーズのくみ上げにも一定の成果があったと思われる。組合としての今後の取り組みの道筋をつけた事業といえる。 ・消費者アンケートの実施は、個々の経営者の経営戦略を立てる上でも重要な判断材料を提示することにもなり有用な事業であったと評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者に対するアンケート調査結果について、その結果を具体的にどのように活用したのか(活用するのか)について具体性がある報告書であるとよかった。 ・事業目的は、この取り組みを通じた若者・女性層の利用者開拓であるならば、一定の時期においてターゲット層の利用実態等について把握し、有効に活用することに期待する。
⑤	全日本美容業生活衛生同業組合連合会	新しい消費者ニーズに対応してパーマントウェブ等の安全・安心を確保するための技術の普及	4,500	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会への参加人数は当初の予定を上回り、本事業に対する関心が高かったことを示している。 ・講習会により59名の地域指導者の育成や、全国各地で259回の講習会が開催など事業の実施も計画通り行われており評価できる。 ・マニュアルについても技術論だけでなく、セールス方法や消費者の動向等についてのデータなど分かりやすく活用しやすいものと言える。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業成果の把握に関しては、集客増などの効果を測定するにはまだ時間がかかるが、アンケート調査を通じた改善点等の具体化が求められる。 ・多くの受講者があった本講習の業界における浸透状況や課題をフォローし、改善点・課題等を明確にしていくことが求められる。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金＜連合会・組合関係＞事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
⑥	全日本美容業生活衛生同業組合連合会	組織強化に関する研修会の開催	4,500	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合組織加入率の増加は、衛生水準の確保の面からも重要であり、事業の意義は大きい。本事業の中心となる研修会については、成果の測定がまだであることから実際にどれくらいの効果があったのかは現時点では判断できないが、事業の進め方、評価の進め方は適切なものと認める。 ・全国組織の事業としてまつモエクステに取り組むにあたり、医師等からのアドバイスを示し、安全性についての啓蒙活動がなされており、注意喚起効果が期待できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、事業目的である「具体的な組合員の脱退防止の方策、未加入者・新規開設者への組合加入促進策等」にどれくらいの効果があったかについてはこの時点では明確になっていないので、今後、組合加入状況等について適切に把握を行い、事業内容の有効性について検証することを期待する。
⑦	北海道美容業生活衛生同業組合	訪問美容事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政等との連携も視野に、今後の政策面での活用も可能な事業として展開されており、高く評価できる。 ・顧客へのアンケート調査をもとに講習会等を実施し、派遣先を開拓し、地域の福祉事業として訪問美容が認められるなど大きな成果を残せたものと考ええる。 ・成果把握も数値を上げて測定しており、優秀である。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設だけではなく在宅への普及や、北海道だけでなく他県への普及も考えられるのではないかと。
⑧	東京都美容業生活衛生同業組合	雇用促進拡大事業	1,572	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施が遅れているが、求人情報の募集につながっており、今後の成果が期待される。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画時に審査・評価会よりの指摘事項(「人手不足の原因の分析など緻密な分析を行った上で事業を実施すべき」、「東京以外の地域の人材難を招かないか懸念される」)についてどのよう検討し、対応を図ったか、また、事業の成果について成果報告書からうかがえず、成果の自己評価として不十分である。引き続き事業の効果把握や検証に努めていく必要がある。
⑨	愛媛県美容業生活衛生同業組合	中小企業活路開拓・実現化事業(組合等web構築事業)	1,568	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来、作成することができなかった組合ホームページを開設したことは大きな成果のひとつと考える。 ・本事業合に合わせて加入促進が実施されるなど、一定の成果を確認することができる。 ・組合HP作成の成果についてアクセス数等をモニターしようとする姿勢は評価できる。今後のHP活用を期待したい。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの内容はまだ一層充実できる余地があると考えられる。ホームページのアクセスが高まるよう検討の余地もある。消費者ニーズの把握の手だてともなる。こうした効果も含めさらに事業成果を把握していく必要がある。
⑩	全国興行生活衛生同業組合連合会	「デジタル機器」導入に向けた説明会	1,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画段階での審査・評価会の意見を反映し、日本公庫と連携して融資に関する説明を追加するなど、事業目標達成のために効果的な工夫を行ったことは高く評価される。 ・実際にDC機器導入スクリーン数は目標値をはるかに上回るものであり、この講習会がきっかけになって業界の機器導入に進展があったと認められ、事業の成果は大きかったものと評価することができる。 ・説明会でアンケートを取っていることも評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標としたデジタルシネマ機器の導入については一定の推進が図られたが、一方でアンケート結果からは、導入の必要性について理解が進んでいない事業者も少なからずいることが確認できる。今後もこれらの事業者に対する対応を進め、本事業の効果を高めることに期待する。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金〈連合会・組合関係〉事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
⑪	全国クリーニング生活衛生同業組合連合会	クリーニング業 安全・安心対策ガイド作成事業	3,630	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングにおける安全・安心は、顧客にとっても従業員にとっても重要な課題であり、安全・安心対策ガイドの作成は十分意義のある事業であったと評価することができる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画時に予定されていたアンケート調査の結果が報告書に添付されていないため、成果把握が行われたのかがわからない。 ・このガイドブックを実際に事業者が活用し、消費者トラブル等の防止につながっているかどうかを検証することが大切であり、今後のフォローが期待される。
⑫	全国クリーニング生活衛生同業組合連合会	クリーニング師研修の受講率向上事業(継続)	4,370	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング師研修は、クリーニングに携わる者や顧客の安全の観点から重要なものであり、受講率向上のための事業の意義は大きいと考えられる。 ・「クリーニング研修の受講率の向上」という目的に対して、各地域の組合の役員、地域行政機関等の関係者一同が目的を共有するため意見交換会を行う必要性は十分に認められる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係5機関における意見交換会が行われているが、その成果(分析結果)をどのように反映し、対策をどう運用したか、追加研修以外に具体的な内容について記述がないので、どのような対策に活かされたのか、さらに十分な成果把握を行っていくことが必要である。その上で、研修受講率向上により有効な対策も視野に検討していくことが重要。
⑬	栃木県クリーニング生活衛生同業組合	共同利用工場(マシン・リング)設置検討事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同利用工場(マシン・リング)設置に向けて現状把握のために必要な基礎的な調査、啓発を目標とした事業であり、実態調査結果から様々な問題を明らかにしており、短期的な目標については十分な成果を確認できる内容であり評価できる。 ・また講習会も計画通り行っており、事業の進展があったものと認められる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のモデル事業への展開が実現可能かどうか、本事業の成果も踏まえて十分な検討が望まれる。
⑭	山口県クリーニング生活衛生同業組合	利用者啓発事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発のための媒体数を当初の計画より大幅に増やし、効果的な事業を目指した点は評価できる。 ・成果把握に関しては、計画段階での審査・評価会の意見を反映して、事故や苦情の件数を把握することに努めており評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したSDカードやリーフレットがどの程度有効に配布・活用できているかのデータが不足しているように感じた。どの程度の割合の店舗においてフォトフレームが設置され、顧客啓蒙に役立っているのか等を明らかにする必要がある。 ・今後、苦情数の変化等について把握を行い、継続的に事業を検証していくことを期待する。
⑮	全国公衆浴場業生活衛生同業組合連合会	「浴育」推進事業	6,050	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別課題に沿った事業のほかに独自のイベント、アンケート調査など多岐にわたる事業が計画されていたが、予定した事業はほとんど実施されており評価することができる。今回作成されたツールや得られたノウハウを生かして、組合の自主的活動となつて継続されれば理想的である。 ・事業の実施報告書の内容が詳細であり、内容も次期の事業の計画の参考になるものである。アンケートの取り方や集計の仕方は課題がわかるように改善の余地はあるが、成果把握を目に見える形であらわそうとしていることは評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、これまでの取り組みを検証し、組合の自主的な取り組みへの移行や、平常時における児童・幼児の利用状況等の調査など、これまでの事業を活かした発展的な取り組みにも期待したい。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金〈連合会・組合関係〉事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
⑯	北海道浴場業生活衛生同業組合	「北海道健康入浴21」事業	2,700	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、事業の目的である高齢者の健康維持・正しい入浴に関する知識の普及に成果があったものと考えられ、事業者・消費者のニーズに合致した事業であったことが結果的に裏付けられたと評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の閉じこもり防止にどれくらいつながったのかどうか測定できるような工夫があればよかった。 アンケート結果では、支払意思額は430円であり、現行の北海道の公衆浴場料金の420円を上回っており、補助事業でなくても続けられるように期待したい。
⑰	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会	経営革新・技術開発のための事業(地熱発電と温泉地との共生に関する調査事業)	6,167	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域の旅館ホテル事業者が、地熱発電開発に直面した際に、適切に対応できるようにするために必要な知識を取りまとめた本事業は、今後の業界振興にとって一定の役割があるものと評価する。 報告書はボリュームのある十分な内容のものが出来上がっており評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点では事業成果が抽象的なものにとどまっているので、事業の成果を生産業の振興に具体的にどのように活かされていくのかを明らかにしていく必要がある。
⑱	全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会	旅館・ホテルにおける接客業務の知識・技能の向上	2,851	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別課題に沿った事業で、そのうえで障害者への対応も織り込んでおり、サービス向上や福祉の増進の観点からも評価する。 成果把握に関しては、アンケート調査が行われ、参加者からは好評であった。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が予定数を下回っていることは残念である。参加者が地元で内容を伝えるなど、効率性に配慮した形での継続が必要。 アンケート調査については、今後の活動につながる内容を盛り込むなど、内容を見直して欲しい。
⑲	東京都ホテル旅館生活衛生同業組合	トコジラミ被害撲滅事業	1,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> トコジラミ対策は公衆衛生の点からも重要な課題であり、内容の濃い小冊子などを作って啓発に取り組んだことは、今後の業界における対策を進めていくうえでは、貴重な資料を作成することができたものと評価する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が少ないことから必要性や危機意識の共有のあり方に再考が必要ではないか。 小冊子を配布後に、被害の改善にどのようにつながったか現時点では把握手法の検討や十分な検証がなされていないので、引き続き成果の把握に努めていく必要がある。
⑳	全国麺類生活衛生同業組合連合会	「ヘルシー麺レシピ集」作成・配布事業	2,500	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者の健康志向の高まりをうけ、ヘルシーメニューの推進といった事業の目的に対しての一定の成果が得られたものと推測される。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果の把握について、計画時に審査・評価会で指摘された「アンケート等によって消費者の反応を的確に把握する」という点について触れられていない。レシピ集の配布で終わらず、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。 健康という観点から、栄養素等についてのレシピにおける解説の充実や、成果測定についてもう少し深い考察を要望したい。
㉑	全国麺類生活衛生同業組合連合会	「蕎麦鑑定士」認定制度	4,500	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業は計画通り実施され、事業の目標である「蕎麦鑑定士」の養成については、実績から十分な成果が得られたと考えられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の目的が「経営安定化」とするならば、「蕎麦鑑定士」の制度が経営の安定化にどのように作用するのか具体的な事例・数値等の把握を期待する。 今後、この制度を発展させていくことが出来るかどうか重要であるが、今後当該制度を普及させるためには、メディアなどを巻き込んだ積極的な広報も考えられるのではないかと。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金＜連合会・組合関係＞事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
②②	埼玉県麺類生活衛生同業組合	常連さん獲得キャンペーン「あなたのおソバが いいカード」	1,399	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業参加店に対するアンケート結果から、来店客数の変化等経営の安定化に成果があったことが確認できる。このような取り組みは継続的に実施していくことが、顧客の定着率の向上につながり事業効果も高まることが考えられるため、組合の自主的な取り組みとして実施していくことに期待する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果把握はアンケートを通じて行われており、成果測定の視点は間違っていないが、回収率が低すぎ、成果把握としては不十分であるので、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。 ・事業を継続するための財源を確保し、長期的に経営の安定化が達成できるよう、今後工夫が必要。
②③	東京都麺類生活衛生同業組合	新メニュー共同開発	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メニューの検討・提案にとどまらず、実際にメニュー化まで取り組ませる点については、高く評価できる。 ・アンケート調査結果においても「個人で取り組むことが困難」と回答があるように、組合組織だからこそできる取り組みである点の評価も得られている。 ・事業はメディアにも取り上げられており、PRの効果はあったものと考えられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新メニュー導入の効果に関しては短期間では評価することは難しいので、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。
②④	神奈川県麺類生活衛生同業組合	新そば祭り	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査・評価会の指摘を受け、事業のPRに関して様々なメディアを通じて行っており、評価をすることができる。 ・作成された小冊子の出来もよく、参加者からもおおむね良いコメントを得ており、成果があったものと評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント型事業の難しい点であるが、この取り組みにより、麺類飲食店の経営の安定化の効果がどの程度見込めるのかについての視点が十分でないように思われるので、一過性に終わらせまいよう、今後にどうつなげていくかを考えていただきたい。
②⑤	全国冰雪販売業生活衛生同業組合	休止組合の活動再開支援及び振興計画未認定県の解消に関する事業	5,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休止組合の活動再開には至らなかったが、休眠組合が再開できない理由などの問題点を明確化しており、引き続き働き掛けることで具体的な効果をあげられるものと期待される。組合活動の再活性化を考える上で一定の成果はあったものと思われる。 ・アンケート調査はホームページやFacebookページを通じて行っており、新しい試みとして評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明らかになった問題点に対してどのような対応を図っていくか、今回の結果を踏まえた政策活用に期待する。
②⑥	全国食肉生活衛生同業組合連合会	生食用食肉等情報提供普及事業	7,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生水準の向上に直結する事業であり、セミナーの参加者も予定を大幅に上回るなど事業実績も大きい。 ・生食用肉に起因する食中毒は減少していると報道されており、十分な成果が出ているものと考えられる。 ・成果把握もアンケートなどを行っており評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書において、自己評価における成果の根拠が十分に示されていないので、丁寧な説明が求められる。 ・評価においては、費用対効果の視点も必要ではないか。
②⑦	山形県食肉生活衛生同業組合	生食用食肉等情報提供・衛生管理の維持向上事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生水準の向上に直結する事業であり、講習会への参加者も予定数を超えるなど、事業の成果が上がったものと考えられる。 ・成果把握もアンケートを通じて行っているが、アンケート結果の内容を見ても、事業の目的である食肉販売事業者の衛生管理等の維持・向上に一定の成果をもたらす事業であったと考える。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は県内での生食用食肉起因の食中毒数頻度などをもって、長期的な成果の検証などを行うことも期待したい。 ・全国組合連合会の事業と重複なく効率よく実行されたかどうかという点が報告書で確認できるとよかった。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金〈連合会・組合関係〉事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
⑳	神奈川県食肉生活衛生同業組合	食肉等衛生管理等維持向上事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生水準の向上に直結する事業であり、講習会への参加者も予定数を超えるなど、事業の成果は上がったものと考えられる。 ・成果把握もアンケートを通じて行っているが、アンケート結果の内容を見ても、事業の目的である食肉販売事業者の衛生管理等の維持・向上に一定の成果をもたらす事業であったと考える。 ・保冷パックを配布するなどの独自の事業も成果を上げていることがうかがえる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果把握もアンケートを通じて行っているが、集計のみでなく、考察が必要ではないか。 ・全国組合連合会でも類似の事業と重複なく効率よく実行されたかどうかという点が報告書で確認できるとよかった。
㉑	香川県食肉生活衛生同業組合	食肉の知識普及・衛生管理に関する事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生水準の向上に直結する重要な事業であり、講習会への参加者も予定数を超えており、受講者アンケート結果の内容を見ても、事業の目的である食肉販売事業者の衛生管理等の維持・向上に一定の成果をもたらす事業であったと考えられる。 ・タフロンバッグ、ポケットティッシュ、クリアファイルなどはデザインもよく、効果的と考えられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは実施されているが、アンケート結果の分析まで実施してほしい。 ・全国組合連合会の事業と重複なく効率よく実行されたかどうかという点が報告書で確認できるとよかった。
㉒	全国飲食業生活衛生同業組合連合会	衛生水準の向上・環境保全を図るための事業（飲食店における受動喫煙防止対策推進事業）	9,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止対策への取組は社会的な要請であるが、その一方、様々な課題により思うように取組が進まないテーマでもあるため、継続的に、1つずつ課題を明確にし、取組んでいくことが必要であり、本事業もその過程の1つであると評価する。 ・本事業は業界の実態に関して大規模な調査に取り組むものであり、今後の業界の受動喫煙防止対策に関する取組の方向性を定めるにあたり、貴重な材料となるものと考え評価する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模なアンケートに関しては報告書作成中とあるが、中間の結果だけでも示してもらえればよかったが、資料からは、将来の政策に活かせるようなまとまったデータが得られたのかどうかの記載がない。 ・事業の意義は大きいですが、成果を判断できる段階にまでは至っていないので、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。
㉓	東京都飲食業生活衛生同業組合	災害対応能力の維持向上に資する事業	1,940	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業により作成されたマニュアルは、大変よくまとまっており、生衛業の災害に対する備えを促進するうえでも十分に価値のある事業であったと考える。 ・マニュアルは、東日本大震災の被災した事業者への取材を経て作成したものであり、被災後から事業再開までの行程に合わせた作りとなっており活用度合は高いものと評価する。 ・今後の課題として講演会に参加しなかった組合員のことが検討されているのも評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時にマニュアルが有効に活用されるよう、組合員への徹底を図ってもらいたい。
㉔	長野県飲食業生活衛生同業組合	組合の組織強化（加入促進）に資する事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ作成やパンフレットの作成、講習会の要望も多く、組合員数も増加に転じており、事業としての成果は十分上がっているものと評価できる。 ・ホームページは内容も充実しており、おすすめ店舗情報があるなど組合の振興に十分役立つものになったと評価できる。また、アクセスについて分析を十分に行い、分析結果をもとにホームページのコンテンツを見直すなど効果的な取り組みも評価する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを新規会員に実施し、何が加入の原動力となったかも把握し、解析した情報を他の組合にも還元することが望まれる。 ・HP運営の費用面も含めて、今後の継続については組合の自助努力を期待したい。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金＜連合会・組合関係＞事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
33	大阪府飲食業生活衛生同業組合	生活衛生関係営業の振興を図るための事業(組織強化・活性化の事業)	1,604	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル、支部組織の活動調査、商売繁盛セミナーの実施等アイデアに富んだ事業内容・活動実績等から、経営の安定化に対し一定の効果が見込まれる事業であったと評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ運営の費用面も含めて、今後の継続については組合の自助努力を期待したい。 ・ホームページは以前のものとは比べて大変見やすく、内容も充実してきているが、画像がNo imageになっているところも散見されるため、改善の余地がある。
34	全国すし商生活衛生同業組合連合会	組織強化、活性化のための事業	7,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成された冊子は、すしの健康に対する優位性について外国人も理解できるように工夫されており、冊子の完成度は高く、十分事業効果を期待させるものになったと考えられ、当初の事業の目標は達成できたものと判断する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成されたツールがどのように今後活用されるかが重要であり、冊子の活用状況、利用者の反応の把握についてさらに時間をかけて引き続き把握に努めていく必要がある。 ・作成した冊子は組合員店で配布したようであるが、外国人に理解を深めてもらうために、外国人に情報が伝わる場所に置かれるよう働きかけるなど、より事業成果を高める取り組みに期待したい。
35	富山県鮎商生活衛生同業組合	組織強化、活性化のためのすし職人育成事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100名近くの参加者があり、就業に一定の興味を持っている人材を開拓するという意味では、高校への出張授業と比べても効果が出やすい事業であるように思われる。本来の成果は長期的に測定するほかないが、アンケートを見る限り一定の成果があげられたように思われる。今回の方法論は、後継者養成に関する政策面での活用も期待される。 ・成果把握もアンケート調査を行っていることは評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業参加者へのアンケートにおいて、「すし職人も職業選択の中にある」と回答したような人材を具体的に雇用に結び付けていくスキームづくりの検討を行うことが、今後のすし職人の人材育成・後継者育成のために必要であるとする。
36	島根県すし商生活衛生同業組合	島根県産の安価でおいしい鮮魚・すしと、店舗の紹介冊子作成による組合員の増強事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月末時点ではパンフレット作成中であり、現時点で事業の成果を判断するのは難しいが、パンフレットの構成などはよいものと思われる。 ・店の紹介にとどまらず、地域の四季折々の魚や地域の魚にまつわる伝承、食べ方等、「すし」に対して消費者の興味をわかせる内容となっており、工夫された冊子である。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等事業終了後の分析等を適切に実施していただきたい。 ・今回作成した冊子を増刷する際には、お店紹介欄に掲載されることを組合加入のメリットの1つにするなど、今回の事業の実施効果が拡大するような事業展開に期待する。
37	長崎県鮎商生活衛生同業組合	「ながさき和・華・蘭すし」の開発と普及促進事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規メニュー開発による具体的な効果については、現時点で事業成果の判断をするのは難しいが、統一ブランド寿司の開発に43作品もの応募があり関心が高く、メニュー化に向けた講習会の開催等の活動実績からも事業の目的である経営支援を通じた経営の安定化に対し一定の成果が見込まれる事業であったと評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メニュー開発は完了しているようであり、引き続き経営支援の継続や効果の把握に努めていく必要がある。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金〈連合会・組合関係〉事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
③⑧	全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会	消費者への鶏肉の知識普及促進	5,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業により作成された、冊子、ポスター、ポリ袋等は、「対面販売」を業の強みとする食鳥肉販売業において、店頭において消費者への鮮度管理への意識向上、鶏肉の消費意欲の向上に役立つものであり、本事業の目的に一定の効果が見込まれる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の際に、成果把握方法として講習会アンケートなどが計画されていたが、成果報告書ではそのことに関しては触れられておらず、評価の裏付けとなる具体的なデータが示されていないので、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。 ・配布したツールについて、事業者から意見を聴取するようなフィードバックがあってもよかったように思われる。
③⑨	東京都食鳥肉販売業生活衛生同業組合	消費者への鶏肉の知識普及促進	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国連合会作成のツールを活用した独自の事業であり、効率性に配慮がみられたと思われる。 ・参加者が少なかった点は残念であるが、事業は意義があり、また、成果把握としてアンケート調査が行われており、サンプル数は少ないものの消費者等の貴重な意見が聴取できており、一定の成果があると思われる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会・講習会は参加者が予定人数より少なかったため、参加を促すようなPRを工夫すべきである。 ・アンケート調査を実施しているが、それぞれからどんな教訓が得られたかについて記述がないことから、アンケートの分析が必要である。
④⑩	神奈川県食鳥肉販売業生活衛生同業組合	消費者への鶏肉の知識普及促進	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国連合会作成のツールを活用した独自の事業であり、効率性に配慮がみられたと思われる。 ・参加者が少なかった点は残念であるが、事業は意義があり、活動実績や講習会参加者のアンケート結果の内容から、消費者に対する鶏肉知識の普及といった本事業の目的に対しては一定の成果があった事業と判断する。 ・成果把握ではアンケート調査を行っており、消費者の満足度も高い。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会は参加者が予定人数より少なかったが、事業内容はよいので、参加を促すようなPRを工夫すべきである。
④⑪	大阪府食鳥肉販売業生活衛生同業組合	消費者に対する鳥肉の知識の普及・啓発	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会参加者のアンケート結果を見ると、「鶏肉のさばき」、「鮮度調査」、「調理実習」といった部分について高い評価と理解度を確認でき、鶏肉知識の普及といった目的は十分に達成できたものと判断する。 ・セミナーにも予定参加数とほぼ同数の消費者団体関係者が参加しており、消費者団体の十分な理解が得られたものと評価できる。今後はこのような知識を一般の消費者にも浸透するような事業が期待される。 ・全国連合会作成のツールを活用した独自の事業であり、効率性に配慮がみられたと思われる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者に対して料理講習会にとどまらず、衛生管理に関する研修会であることがより伝わるようなプログラム構成を検討していく必要があると考える。
④⑫	全国喫茶飲食生活衛生同業組合連合会	「災害に強い店づくり」と「コーヒー文化創造」のための情報提供事業	6,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初計画に従ってポスター、リーフレットが作成、配布されており、また作成されたパンフレットの内容についても、喫茶店事業者には日頃からの防災の備えの必要性を認識させるためにも効果的なものであると判断する。 ・成果把握は組合員のヒアリングという形で行われているが、おむね好評である。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、実際にどの程度のお店が防災に対する対策を講じているか、どのような準備をしているかなどの実態把握を行うなど、パンフレットの配布だけで終わらないよう、事業成果を高める取り組みに期待したい。 ・災害時の対応マニュアルや常備品のリストなどに関する対応がもう少し盛り込まれればよかった。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金〈連合会・組合関係〉事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
④③	茨城県喫茶業生活衛生同業組合	中高年層を呼び込む特別メニューの開発・普及事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者用のヘルシーメニューの開発と普及に関する事業で、時代の要請に合致した事業である。本事業は当初計画していた目標を達成できており評価することができる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年向けヘルシーメニューの導入を売り上げにつなげていくことを考えていく必要がある。 ・計画時に審査評価会で指摘された、「顧客アンケートを行うなど、可能な限り事業効果の定量的な把握に努める」点についての対応に課題が残るので、引き続き、高齢(者)消費者の意見を聞くなどの取組を検討されたい。 ・メニューは生野菜、温野菜を多くするだけでなく、塩分、糖分等医学的な面から内容の充実を図るとともに、コスト面からのアプローチも必要ではないか。
④④	福井県喫茶飲食生活衛生同業組合	外客との接遇の知識・技能の向上を図り、喫茶飲食店の国際化適応マニュアルテキストの作成を行い研鑽を高める事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光立国を目指す我が国において、喫茶店営業等の外国人対応の向上といった社会的なニーズに対して一定の成果が見込まれる事業であった。 ・成果報告書作成の時点では、マニュアルとパンフレットの作成までであり、事業の評価を十分にできないが、作成されたマニュアルの完成度は高い。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、組合独自の活動として、今回作成したツールを活用し、広く営業者に対して普及を図っていくことが事業効果を高めるためにも必要であると考え。 ・講習会は毎年行うとあるが、語学そのものの向上よりもマニュアルの活用法の検討がさらに必要。 ・引き続き効果の把握に努めていく必要がある。
④⑤	大分県喫茶飲食生活衛生同業組合	今後の経営戦略と店舗の省エネ対策に関する研修会事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の内容を組合員のニーズに応じて決め、組合員が実際に問題としていることに取り組めたことは評価できる。 ・当初計画の熟度は高くないと感じたが、実際に実施された事業内容を見る限りでは、講習会参加率は高く、効率的に実施されたと思われ、地域喫茶店営業の経営の安定化に対して一定の効果が見込まれる事業であると評価する。達成度の自己評価は低いですが、課題発見につながったことがむしろ重要ではないかと思われる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者の疑問、目的の達成度、集客に繋がる方法等、アンケート調査の分析を行い、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。
④⑥	全国中華料理生活衛生同業組合連合会	個店の営業力強化と組織強化・活性化	7,800	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業はまだ進行中であるが、メニューへの追加等についても前向きな回答があり、組合活性化の兆しも見え、一定の成果があったと認められる。 ・地域指導者の育成を目的とした講習会事業については、参加者のアンケート調査結果から、一定の評価を確認でき、当初の目的について達成しているものと考え。 ・組合加入者が増加したことは事業の効果をあらわしていると考え。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット等の配布で終わりせず、参加者が各地域において具体的にどのような取り組みを行っているのか等を把握していくことが、本取り組みの成果を高めるとともに、組織の活性化のためには必要であると考え。
④⑦	北海道中華料理生活衛生同業組合	組合ホームページ作成事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来、ホームページを持たなかった当該組合においては、本事業の実施により新たにホームページといったインフラを整備したことにより、組合員に対する情報発信能力の向上といった本事業の目的の実現に向けて着実に進捗しているものと評価する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信インフラの整備が整った後は、組合員が求める情報、組合員にとって有益な情報、社会の公益実現に必要な情報の収集経路について見直し、生衛組合本来の目的の実現に有効に活用することを期待する。また、消費者が活用できるような内容になることも考慮されたい。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金＜連合会・組合関係＞事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
④⑧	東京都中華料理生活衛生同業組合	中華料理はからだに優しい(美味しい・ヘルシー)生活の促進事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化及びヘルシーメニューの在り方に関する講演会の参加者は予定を下回るものであったが、10ブロックでのヘルシーメニューの料理講習会はほぼ予定どおりの参加者があり、参加者の評価も高く、評価できる。 ・ホームページ「中華萬菜」も大変出来がよい。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理講習会のレシピでどのような点がヘルシーなのか、健康増進にどのような効果があるのかについての説明が十分でないため、カロリーなど消費者に対するセールスポイントを明確にすべきだと思われる。今後、同様の取り組みを行うにあたっては、このような視点を取り入れて実施することに期待する。
④⑨	福井県中華料理生活衛生同業組合	ITを活用した、生活衛生情報伝達システムの構築、運用	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規作成したホームページは、内容はまだ充実させていく余地があると思うが、加盟店の紹介などがあり評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス数などの具体的成果の把握はこれからの課題と思われる。引き続き効果の把握に努めていく必要がある。 ・例えば、お店の紹介について、「〇〇支部」という文言では消費者の理解を得にくいので、誰に見てもらうためのホームページなのかといった視点を大切に、今後の更新に期待する。
⑤⑩	全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会	後継者育成事業	9,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研修会に一度も出席していない者を対象にしたところに、事業としての意義を見ることができる。参加者は予定数の9割に達しており、アンケート調査においても一定の評価を得ていることは、高く評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の結果、受講者が各地域において具体的などのような取り組みを実施しているのかまで成果として把握するためには、研修会の開催時期も含め、成果把握の方法について検討を行われたい。 ・非参加県の参加を促すことが課題と思われる。
51	栃木県社交飲食業生活衛生同業組合	地域ふれあいたすけあい事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社交飲食業が中心となった他業種にわたる地域貢献事業であり、すでに組合新規加入者も増加しており、事業を通じた組合の強化も図ることができるものと評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、本事業で得られた成果・認識された課題を活かして継続的な取組を期待したい。 ・今後は、長期的な事業計画と中・短期的な事業計画を明確にしながら、引き続き効果の把握に努めていくことが求められる。
52	大阪府社交飲食業生活衛生同業組合	組合の後継者育成による組織強化事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しい課題に対する取組であるが、組合員の純増数は目標に達していないものの新規加入者数が132名あり、事業の目的に対して成果があった事業であると評価する。組合としての努力がうかがわれる。 ・研修会、コンプライアンスガイドの作成・配布ともに予定通り行われた。アンケート等を通じてプロセス評価を行っており、成果把握に関しては問題ないとする。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な視点での成果把握が重要であり、組合による継続的な取組がなされればさらに意義が高まる。 ・研修セミナーについて、参加人数と各テーマ別のアンケート比較等が成果分析としてさらに必要であると思われる。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金〈連合会・組合関係〉事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
53	熊本県社交飲食業生活衛生同業組合	社交業の活性化のための事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査・評価会の指摘を踏まえて事業内容を見直し、愛称募集と感染症予防をうまく結びつけた啓蒙活動が実施されていると思われる。2つの事業を結びつけることによって効率的な知識普及が可能になるという実例と考えられ、今後の政策的な活用が見込まれる。 ・感染症対策という飲食にとっては大変重要なテーマに取り組んでおり、事業の成果も十分上がっているものと考えられる。営業者だけでなく消費者にも啓発した効果は大きいと考えられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業成果把握のためのアンケート調査の詳細な結果分析が望まれる。
54	全国料理業生活衛生同業組合連合会	日本料理店における高齢者のおもてなし	6,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月末時点では成果報告はまだまとめ途中であるが、事業の着実な進展がみられる。まず、営業者に対するアンケートを行って独自の分析をし、問題点がどこにあるのかを明確にした上で事業に当たっていることは高く評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマの特性上、事業者ではなく、消費者に対するアンケートのほうが適切であったようにも思う。引き続き効果の把握に努めていく必要がある。
55	広島県料理業生活衛生同業組合	高齢者を日本料理店に呼び込むプロジェクト	1,874	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者メニューの開発、対象者への周知といった当初計画した事業は実施できており、目的に対する一定の成果は期待できる。 ・研究会の様子を広くマスメディアに公表することによって事業の知名度を上げることに成功している。 ・高齢者向けのメニューは今後需要が高くなることが期待され、十分それに対応できるように事業が進められたと評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成と配布で終わらず、次年度以降のメニュー化の進捗状況、売上等の効果についての検証を行い、継続的に取り組んでいくことに期待したい。 ・全国組合連合会の事業と連携をもって実施されればより効率的でより効果的でなかったかと思われる。
56	茨城県美容業生活衛生同業組合	公衆衛生推進員制度を通じた組合の組織強化(加入促進)ならびに自主管理点検表の状況確認と普及促進	980	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と協働して公衆衛生推進員制度を立ち上げたことは高く評価できる。 ・組合員、非組合員にかかわらずこうした制度を推進したことは、公衆衛生の側面から大変意義深い事業であるとともに、組合主催の衛生講習会に51名もの組合未加入者が参加するなど、組合組織への理解促進につなげることもできている点も評価したい。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書に具体的な成果が客観データ(参加人数やアンケート結果)として明記されていないので、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。
57	岡山県美容生活衛生同業組合	組合ホームページリニューアル・加入促進活動展開事業	1,650	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度の自己評価は低めであるが、限られた事業期間であるにもかかわらず一定の成果が数値的に把握されており、事業としての意義が認められる。 ・ホームページはデザインもよく、内容も充実している。組合加盟店の店舗を紹介している点もよい。 ・組合加入促進活動は、予定の訪問件数に達していないものの、一定の成果を残している点は評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書に詳細さを要望したい。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金〈連合会・組合関係〉事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
58	奈良県美容業生活衛生同業組合	美容なら・安心お約束サロン推進事業	1,602	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政との連携や評価・審査会の指摘事項への対応を含め、組合としての事業活動に対する取り組み姿勢は評価できる。成果把握は課題も残るが、難しいテーマに対する取組として評価したい。 非組合員にも美容師の手引き全体版、衛生自主管理チェックシートを配布しており、衛生水準向上に対して非常に効果の高い事業になっている。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初計画における事業の目的・成果(着地点)が抽象的であったため、本事業の実績がその目的達成にどの程度の位置にあるのか判断しにくい側面があった。 これらの取組を消費者にも知ってもらうことを検討されることを提案する。
59	栃木県めん類業生活衛生同業組合	消費者に対する蕎麦の知識と食味の普及	1,868	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> そばの知識の普及を図る事業で、事業は計画通り進められており、所期の目的については一定程度達成されているように思われる。 2月末時点でアンケートの調査結果はまだ出てきていないが、アンケートの設問の中にはアレルギーに関するものが含まれており、有益な調査になることが期待される。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの調査結果はまだ出てきていないが、集計、分析を行い、効果の把握と有効な活用に努めていく必要がある。
60	大阪府食肉生活衛生同業組合	店頭販売力強化による経営支援事業	1,700	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 店舗販売力の強化といった事業目的の具体的な達成度について数値化することは困難であるが、実施された事業内容からは、十分にその効果に期待がもてる事業であった。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ノロウイルス対策については、全国連合会との連携によって効率的に実施される体制があればよかったと思われる。 講習会の内容は大変充実しているだけに、参加者が当初の目標に達しなかったのは残念であった。参加者が増加するように、講習会のPRを工夫することが必要。また、組合としての組織力の強化が別の課題として浮かび上がったように思われる。
61	愛知県飲食生活衛生同業組合	組合の組織強化(加入促進)に資する事業	1,114	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規組合加入者や生衛貸付の利用の実績等は上がっており、また、店舗の経営に直接かかわるメリットを前面に押し出したパンフレットを作成するなど工夫が見られ、所期の目的を十分に達成できた事業として評価する。 加入運動の成果自体はまだ長い目で見ていく必要があるが、問い合わせ件数が急激に増えているとのことなので今後の加入数の増加に期待が持てる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問い合わせ件数の急増がさらに具体的な加入数の増加にどのようにつながったかは今後明らかになるはずであり、引き続き組合でのフォローが期待される。
62	岐阜県飲食生活衛生同業組合	食中毒・感染症等の衛生対策マニュアル策定事業	1,600	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回作成されたテキストは、飲食店営業に特化した衛生管理に関するマニュアルであり、次年度以降の組合の自主的な講習会が効率的・効果的に実施される環境が整備されたと評価できる。 すし業、喫茶業等の飲食関係生衛組合にも情報提供されるなど高く評価すべき事業であろう。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルは、他都道府県でも活用可能と思われるので、全国連合会等を通じたノウハウの共有化やテキストの活用を期待したい。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金＜連合会・組合関係＞事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
63	東京都飲食業生活衛生同業組合	組合の組織強化(加入促進)に資する事業	1,660	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業完了時における組合新規加入者実績から、事業には一定の効果があつたと評価できる。 ・パンフレットの作成単価を抑え配布枚数を増やしたことは、効率的な事業の実施に寄与している。 ・今後に向けて課題が明確化されている。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合加入者数の増加は一定の事業目的の達成を示しているが、今後の継続的な取組が必要であり、パンフレットの今後の活用について自主的な検討を期待したい。
64	群馬県飲食業生活衛生同業組合	緊急経営安定化対策事業	510	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算規模が小さいにもかかわらず、事業実績からも目的を十分に達成しているものとして評価する。 ・融資の積極的なPRにより、実際に取扱件数は伸びており、事業の成果が十分得られたものと評価できる。 ・ブログなどを使ったPRもしており、多方面からのアプローチは高い評価ができる。 ・事業成果の把握方法について、明確であり特に高い評価をする。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、フォローアップが適切になされることを期待したい。
65	茨城県すし商生活衛生同業組合	ホームページ作成による組合員支援事業	2,116	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査・評価会の指摘事項を受け、今後のデータ分析やメンテナンスのマニュアルまで視野に入れたHP作成については高く評価できる。 ・ホームページはデザインもよく見やすい。 ・ホームページに連動して、茨城県すし商生活衛生同業組合青年部のfacebookのページもあり内容も充実している。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施期間が短期間であり、ホームページを作成するとどまり、成果測定が今後の課題となるが、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。
66	新潟県すし商生活衛生同業組合	後継者育成支援事業	1,372	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は目的に沿って遂行されたと認められる。 ・出前事業は予定を上回る開催数であり、積極的に事業を展開したことが見て取れる。出前事業、講習会ともに参加者には好評であつたようで評価することができる。 ・ホームページは、同業組合に関連した複数のホームページがあるが、どれも見やすく好感が持てた。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校での出前授業のみで成果を出すことはなかなか難しいことも伺われるので、今後、効果的な後継者育成事業を検討する上で今回の経験を活かして欲しい。
67	岡山県鮎商生活衛生同業組合	観光客対応向上によるすし業振興事業	2,380	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業そのものは当初の想定どおりに遂行されていると認められる。 ・冊子はコンセプトを絞った情報が伝わるよう工夫されており、出来上がりがとても良い。 ・組合員数増加の効果が表れるにはまだ時間がかかりそうであるが、冊子の作成・配布に加え、未加入者にもっと働きかけることで大きな効果が得られる期待が持てる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規組合加入者の獲得については、継続的に取り組んでいくことにより一定の成果が期待できるので、次年度以降も組合の自主的な取り組みを期待する。 ・パンフレットを配布するだけでなく、消費者等にアンケート調査を行って成果把握を行って欲しい。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金＜連合会・組合関係＞事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
68	岐阜県鮪商生活衛生同業組合	後継者育成事業・地域産品を使った新商品開発と普及	1,602	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手経営者に対する講習会、若手主体の新メニューの開発等の勉強会は、特別課題にある後継者育成に沿ったものであり、経営者の育成といった本事業の目的に一定の成果があったものとして評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書から、新商品の開発から各店舗でのメニュー化は実現されたようであるが、それが消費者にどこまで受け入れられるたのかはわからなかったため、アンケート等で引き続き成果の把握に努めていく必要がある。 ・メニュー試作品の発表会の開催、ネット発信など、消費者への情報発信につなげていってもらいたい。
69	岡山県喫茶飲食生活衛生同業組合	冬場の2大感染症徹底対策事業	854	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初想定された事業については適切に実行されたと認められ、地域における感染症対策に一定の効果が見込まれる事業であったと評価できる。 ・成果についても、アンケートによってできるだけ把握しようという姿勢も評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布物(対策book)の内容も適切であり、今後の効果が期待される。 ・本事業により作成した自主点検表の活用は、事業者の自主性に任せられるものであるため、本年度に限らず継続的な巡回指導を行うことにより、業界の自主的な衛生管理体制を維持できるよう努力して頂きたい。
70	北海道社交飲食生活衛生同業組合	組合の組織強化(加入促進)に資する事業	1,003	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は未加入者に対する加入促進資料の作成、所管保健所との連携による加入促進、説明会と複数のチャンネルを使って加入の促進を図る事業であり、新規組合加入者数については目標に達していないものの、300軒の新規加入があり、事業の目的に対して一定の成果を収めたものとして評価できる。 ・今後も継続的に取り組むことにより、事業成果を高めることに期待したい。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会への参加者を増やす工夫が必要である。 ・成果が表れるまでに時間を要するものであり、引き続き効果の把握に努めていく必要がある。
71	全国理容生活衛生同業組合連合会	災害地における訪問理容の在り方	1,435	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された大規模なアンケート調査は、被災地域の理容業者の現状や課題等を把握する政策策定のうえで重要な資料であり、高く評価する。 ・回答率も50%を超えており、このようなアンケートとしては高い。詳細な分析結果は作成中とのことであるが、暫定的な結果報告でも様々な知見が得られている。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を今後の組合活動にどのように活かしていくかが重要であるので、さらに詳細な分析を期待したい。
72	愛媛県理容生活衛生同業組合	若年層・女性層顧客拡大のための理容体験事業	1,400	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの参加者数は計画を大幅に下回っているが、アンケート調査による各メニューについてのニーズ把握が行われ、また、事業が地元紙で取り上げられるなど消費者へのアピールには一定効果があったものと評価できる。 ・アンケート結果からは、事業の目的である理容業における付加価値サービスの理解の促進に対して一定の成果があったものと評価する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果については、ターゲットとしている若い女性の利用がなぜ少ないかなど、課題解決のヒントを見いだせるようさらに分析を行うことを期待する。 ・イベント開催は、一度に多くの対象に啓発できる反面、効果が短期的となることから、本事業をきっかけに継続的に事業成果を高めていくための取組が必要である。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金〈全国センター〉事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
Z1	全国生活衛生営業指導センター	指導・研修事業	31,203	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は滞りなく進められており、指導・研修などの回数も増えており成果があるものと評価できる。 ・昨年の審査・評価会のコメントを生かし、事業の成果についてアンケート調査などを実施、事業者の関心領域の把握も出来ており、評価できる。
Z2	全国生活衛生営業指導センター	消費者対応事業	1,700	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は滞りなく進められており、今年度の事業では、消費者、消費者団体、事業者からの苦情・相談への対応状況を数値としてあらわす工夫を行っており、高く評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者に相談窓口の存在が十分には周知されるよう、PRの必要があるのではないか。 ・国民生活センターとの連携の強化や、棲み分けも視野に入れた議論が必要ではないか。
Z3	全国生活衛生営業指導センター	情報ネットワーク事業	15,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は滞りなく進められており、事業の目標値として定められたアクセス数を大幅に超えたアクセスがあり、事業としては十分に成功したものと評価することができる。 ・ホームページの内容は優れている。
Z4	全国生活衛生営業指導センター	経営安定化事業	7,920	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対応モデル事業報告書は内容が充実しており、政策での活用可能性も高い。実際に、今後の全国センターの活動や政策に生かしていくことが期待される。 ・事業は滞りなく進められており、事例集の内容も大変良いものである。 ・事業の成果把握のために行うアンケート調査の実施について指導が行われており、事業の充実がうかがえる。
Z5	全国生活衛生営業指導センター	衛生水準確保・振興調査研究事業	30,400	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような調査は、シンクタンクとしての全国センターの業務として大変重要であり、今回の調査も報告書から判断すると滞りなく行われたものと評価することができる。 ・報告書の資料としての価値は高く、今後の政策形成にも参考となることが期待される。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査データについてはどのような活用可能性があるのか、シンクタンク機能の強化に役立てるための道筋が示されることが望ましい。 ・税制パンフレットの作成も意義のある事業であると思われるが、各事業者においてどの程度活用されているのかが重要である。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金<震災>事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
①	(財)全国生活衛生 営業指導センター	経営安定化事業	18,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災からの復興に関し、アンケート調査とヒアリング調査など、量と質の両面において多岐にわたる事業を行っており、事業の進捗、成果もおおむね良好であると評価できる。 シンクタンクとしての機能を十分に果たし、その度合いは従来より強化された。 被災地を対象としたアンケート及びヒアリング調査事業はサンプル数が少ないが、今後の被災地における政策に対して十分参考になる結果となっていると評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> この調査結果を生かしてしてどのようなアクションを起こしていくかについて提言が抽象的な内容にとどまっているので、さらに具体的な提言があると良かった。
②	岩手県理容生活衛生 同業組合	理容組合被災者復興 支援事業	4,465	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画時に挙げられた数値目標はほぼ達成されている。 チラシの配布については、被災地特有の事情に応じたニーズに応えるものとして一定の成果があり、復興事業として十分需要にこたえ、地域貢献ができたものと評価したい。 事業の成果把握に関しても、サンプル数は少ないもののアンケート調査を行っており、工夫されている。 「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」の参加、後継者育成事業ともに被災者からは好評であったことがうかがえ、事業としては成功したと考えられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も同様のイベントとなれば効果は薄れていくので、時間とともにその状況にあった事業を推進する必要がある、今後は自立支援への方向に重点を置いていく必要があるのではないか。
③	宮城県理容生活衛生 同業組合	宮城県理容組合被災者 復興支援事業	5,741	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸部の店舗による営業再開がままならない理容師にとって、「訪問理容」といった営業方法は被災理容師の営業再開に有効な手段であり、高く評価される。 訪問理容講習会が、実際の訪問理容の実施に結びつくにはまだ時間がかかると思われるが、講習会への参加者数は予定数を大きく上回るとともに、「訪問理容実施のきっかけになった」との回答も多くみられるなど、一定の成果を得ており、事業としては成功であったと評価できる。 成果把握に関し、数値化できるようにアンケート調査を行っており、工夫されている。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域への貢献度も大きいので、沿岸部を中心として継続的な取り組みに期待する。
④	岩手県美容業生活衛生 同業組合	東日本大震災被災者 復興事業	2,496	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業に工夫が見られ、計画したものが行われているが、復興イベントの参加者が少なかったことはやや残念である。 成果把握に関しては、アンケート調査が行われ、量的によく把握しており、評価できるものである。 「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」の参加、後継者育成事業ともに被災者からは好評であったことがうかがえ、事業としては成功したと考えられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災状況・経営状況調査を行い、現状把握を行ったことは評価するが、その結果をどのように活用するのかについて明確になっていない点が残念である。地域別営業状況を把握したことを今後の取組に生かされたい。 今後も同様のイベントとなれば効果は薄れていくので、時間とともにその状況にあった事業を推進する必要がある、今後は自立支援への方向に重点を置いていく必要があるのではないか。
⑤	福島美容業生活衛生 同業組合	福島県復興支援事業 「美容まつり」	2,067	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長引く避難生活や街の復興の遅れなどの被災地域の現状を考えると、このような取り組みは一定のニーズがあり、地域生衛業者がこれらのニーズに「復興イベント」といった手法で取り組んでいくことは理解できる。 イベントについてメディアなどで紹介され、参加者が予定を大きく上回ったことは、イベントとして所期の目標は達成されたものと考えられる。 成果、成果把握もアンケート調査を実施しており、評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントで集めた関心を営業の再建や復興にどのようにつなげていくかという視点を更に追加するなど、報告書に検討課題の具体的記載がもう少し行われるとよかった。 平均支払意志額は1693円とのことだが、これは実際にかかったコストと比較しての評価も行って欲しい。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金<震災>事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
⑥	岩手県興行生活衛生同業組合	映画でよみがえれ。「コミュニティ」2012	2,241	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果を見る限りにおいては、この取り組みが被災者の精神衛生の向上や被災地域の活性化に対して十分な効果があったものと考えられ評価できる。 他の生衛業と連携した事業は、効率性の観点から評価できる。 「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」の参加、後継者育成事業ともに被災者からは好評であったことがうかがえ、事業としては成功したと考えられる。 報告書は、成果の把握が行われ、量的にも良好である。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果把握に関してアンケート調査を実施しているが、有料ではないので、参加者が満足しているかどうかの観点だけでなく、実際にコミュニティの形成・復活にどれだけ貢献したのかという観点を加えて、今後の課題と取り組み方まで分析を行っていただきたい。 被災地における映画の上映を生衛業者の復興、コミュニティの形成・復活にどのように結びつけていくのか工夫が必要。 今後も同様のイベントとなれば効果は薄れていくので、時間とともにその状況にあった事業を推進する必要がある、自立支援への方向に重点を置いていく必要があるのではないか。
⑦	長野県興行生活衛生同業組合	栄村復興支援「元気の出る」映画上映会	740	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント型の事業であるが、村民の評価も高く、来年度以降は村の予算で事業を継続実施することが決まり、国の補助事業が今後の事業にうまくつながっていることは大きな意義があり、高く評価できる。 アンケートで、映画のメッセージを現在の厳しい自分の環境に置き換えて考えている様子なども見られ、この取り組みが被災者の精神衛生の向上や被災地域の活性化に対して十分な効果があったものと考え、評価する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査により成果把握を行っており評価できるが、質問項目に関しては満足かどうかだけでなく、課題の抽出、事業の改善、地域への貢献につながるような項目を盛り込むなどの工夫が必要である。
⑧	全国クリーニング生活衛生同業組合連合会	復興支援仮設クリーニング工場設置事業(継続分)	37,636	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 23年度事業の継続事業であるが、被災クリーニング店の営業再開支援及び地域のクリーニング需要への対応において着実に成果が認められ評価できる。 どのようにして復興期から通常期の営業へと橋渡しできるかを模索しながら長期的な視野をもって事業を進めており評価できる。 復興支援工場の運営推移と現状が数値でわかるよう分析されているところも評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮設クリーニング工場が今後も継続的に運営が行われるよう、今後もフォローが適切に行われる必要がある。
⑨	千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合	千葉県内の宿泊施設利用者の回復促進と組合組織の強化事業	2,252	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合員の情報化を進めたことは、復興にとどまらず、今後の事業振興において発展性の認められる計画であると評価することができる。 千葉県の来客数の増加など、具体的数値等が目標となっており、成果が把握しやすい点も評価でき、現時点では観光客・宿泊施設利用者の増加といった目的に対しての成果について、数値化されていないものの、十分に効果が期待できるものとする。 ホームページの更新に伴い、電子メール等の活用環境整備について目標を上回る実績なども評価する。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子メール等の活用環境整備について実際の電子メール活用につながるよう、今後の運用をしっかりと行っていただきたい。 事業報告において、参加者や運営者の意見、行政との連携状況も含めて詳しい報告があればよかった。
⑩	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合	南相馬市復興作業従事者宿泊支援運営事業	15,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 復興の過程で生じたサービスの利用側と提供側の両者の問題点に対して具体的な成果を上げており、地域における生衛業者としての社会的役割を果たす結果となっており、高く評価できる。 宿泊人数や雇用の人数も数値として把握できており、評価することができる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来的な施設の出口戦略についても検討を進め、将来活用できるパイロットケースとしていただきたい。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金<震災>事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
⑪	岩手県食肉生活衛生同業組合	被災地生活者に「お肉が近づいて行く、安心なお肉」事業	7,433	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全性の確保、そのアピールは食肉販売業にとっては極めて重要な問題であり、公衆衛生の面からも重要な事業である。 ・被災生活者に対するアンケート調査が行われるとともに、様々な工夫が見られ、政策への活用可能性は高い。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績報告において、どの程度の規模の食肉提供ができたのか、それによって被災者の利便性がどの程度向上したのかについて具体的な記載が求められる。 ・アンケート調査において、消費者の需要や問題までわかるような質問が行われているが、さらに消費者ニーズの詳細がわかるような調査及び分析を期待する。 ・今後、被災事業者の復興の状況を加味しながら、本事業をどのように展開していくかを考えていく必要がある。
⑫	岩手県飲食業生活衛生同業組合	スマイルアゲイン笑顔プロジェクト	4,431	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者の自立に向けた過程にまだまだ課題は多いが、三つの事業はそれぞれに目標としたことを達成し、復興支援としては評価できる事業であると考えられる。 ・「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」の参加、後継者育成事業ともに被災者からは好評であったことがうかがえ、事業としては成功したと考えられる。 ・他の生衛業との連携が図られており、効率性の観点から評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方法として、コミュニティの形成・復活につながるような何らかの工夫がなされるとよい。 ・成果把握については、イベントの参加が有料ではないので参加者の満足度だけでなく、本事業がコミュニティの形成・復活や生衛業の発展にどれだけ貢献したのかを具体的に把握する方法を検討すべきである。 ・今後も同様のイベントとなれば効果は薄れていくので、時間とともにその状況にあった事業を推進する必要がある、自立支援への方向に重点を置いていく必要があるのではないかと。
⑬	岩手県すし業生活衛生同業組合	被災組合員支援事業	1,391	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地の子供たちを対象とした出前授業は、アンケート結果から業界に対する理解の向上など、一定の成果を確認することができる。 ・被災事業者の自立再建支援の取り組みは、9店舗中7店舗が自立再建を果たすなど、目標とした事業成果を達成しており評価できる。 ・メディアでも活動の様子は伝えられており、事業の意義は大きい。 ・「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」の参加、後継者育成事業ともに被災者からは好評であったことがうかがえ、事業としては成功したと考えられる。 ・他の生衛業との連携が図られており、効率性の観点から評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の達成を判断する上でもう少し具体的な目標を立てることが望ましい。 ・イベントの参加が有料ではないので、成果把握は参加者の満足度だけでなく、アンケートの設問について検討が必要ではないかと。 ・子ども達が地域に残ることにフォーカスした事業の実施について検討が必要ではないかと。 ・今後も同様のイベントとなれば効果は薄れていくので、時間とともにその状況にあった事業を推進する必要がある、今後は自立支援への方向に重点を置いていく必要があるのではないかと。
⑭	宮城県寿司商生活衛生同業組合	被災地復興応援ツアー	6,469	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災後、新たな地域で営業再開することができても、従来の顧客にそのお店の場所等を知らせることができないといった、被災地の現状と被災事業者のニーズを良く把握した事業であり、評価する。 ・応援ツアーについては、一定の参加を確保し、また、アンケートからも食の安全・安心に対する理解の向上が見られるなど、成果を確認でき、評価する。 ・補助事業とは別に新たな事業も計画されるなど、今後の事業につながったことは評価できる。 ・成果把握に関しても数値目標を立てたものがほぼ達成されており、評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果把握について、イメージアップ効果にとどまらず、さらに売上げ向上効果など具体的な成果把握が行われるよう工夫が必要である。 ・平均支払意志額は、実際にかかったコストと比較しての評価も行うべきである。

■平成24年度生活衛生関係営業対策事業費補助金<震災>事後評価結果

事業番号	事業計画者名	事業名	国庫補助予算額 (千円)	事後評価コメント
⑮	岩手県中華料理生活衛生同業組合	被災者支援事業	617	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちを対象とした出前授業は、アンケート結果から業界に対する理解の向上など一定の成果を確認することができる。 ・「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」、後継者育成事業ともに被災者から好評であったことがうかがえ、事業として成功したと考えられる。 ・他の生衛業者との連携については効率性の点で評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果把握にはアンケート調査を行っている点は評価できるが、後継者育成に関するアンケートであれば、地域に残るきっかけになるかどうか、将来の地域性営業の発展にどのようにつながるのかという視点からアンケート項目について工夫が必要である。 ・本事業を今後被災地の復興にどのようにつなげていくかを考える必要がある。 ・今後も同様のイベントとなれば効果は薄れていくので、時間とともにその状況にあった事業を推進する必要がある、今後は自立支援への方向に重点を置いていく必要があるのではないか。
⑯	岩手県社交事業生活衛生同業組合	「カラオケバス・生演奏」による被災者支援事業	4,422	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数が多数にのぼるとともに、事業参加者からのアンケートからも、事業の目的である地域被災者の精神衛生の向上に一定の成果があったことが確認できる。 ・「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」、後継者育成事業ともに被災者から好評であったことがうかがえ、事業として成功したと考えられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果把握にアンケート調査を実施しており結果は好評であるが、参加者の満足度だけでなく、コミュニティの再生への貢献など、効果把握を今後活用することが求められる。 ・参加者同士の継続的な交流など、本事業を補助事業でなくとも今後、被災地の事業者の振興にどのように結びつけていくかという仕組みの模索を期待したい。 ・中長期的にどの程度の効果があるかという視点で効果測定をする工夫が必要と思われた。 ・今後も同様のイベントとなれば効果は薄れていくので、時間とともにその状況にあった事業を推進する必要がある、今後は自立支援への方向に重点を置いていく必要があるのではないか。
⑰	岩手県料理業生活衛生同業組合	東日本大震災組合支援事業	1,580	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業再開した生衛業者が復興イベントを通じて地域住民と接点を作ることができた点を事業の成果の1つとして捉えた点を評価する。 ・復興イベントは単に参加者に好評であっただけでなく、後継者の育成につながるような成果が得られたことは評価されるべきであり、今後の事業への橋渡しが期待できる。 ・「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」の参加、後継者育成事業ともに被災者からは好評であったことがうかがえ、事業としては成功したと考えられる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施による短期的な効果は期待できるが、長期的につながりを深めるような方策について検討する必要がある。 ・被災業者の現状把握については、意義があったと考えられるが、今後活かせる新規の情報が得られたのかどうか、具体的な成果が何だったのかについて報告書に詳細な記載がなかったため、実態把握を今後活用することが求められる。 ・今後も同様のイベントとなれば効果は薄れていくので、時間とともにその状況にあった事業を推進する必要がある、今後は自立支援への方向に重点を置いていく必要があるのではないか。
18	全国食肉生活衛生同業組合連合会	東日本大震災被災地復興支援対策事業	10,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全のアピールは大変重要な事業であり、計画されたことはすべて行われており、一定の成果がでることが期待される。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動について、活動指標に加えアンケート調査の集計・分析によって引き続き効果の把握に努め、今後の活動に有効につなげていただきたい。
19	福島社交飲食業生活衛生同業組合	社交飲食業による地域復興支援事業	1,000	<p>【評価できる事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施期間が短期間であったため成果について十分に確認できないものの、震災及び原発事故により、厳しい状況下におかれた地域にあって、社交飲食業の生衛組合の組織強化について取り組もうとする事業であり、作成されたパンフレットや実施した相談会を通じて営業者にとって組織の意義を見直す機会を作り、組織の再建につながったものと評価できる。 <p>【今後に向けての助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興に向け、今回の事業により作成したパンフレット等を活用しながら、継続的な組織化の取組を進めていくことが必要と考える。引き続き効果の把握に努めていく必要があるため、今後の継続的な活動に期待したい。